

対象校No. 657
注4

学校コード F117310105451
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
金沢星稜大学 経済学部 地域システム学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人稲置学園
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	庶務課
職名・氏名	カチョウ ミヤザキヤスオ 課長・宮崎 康雄
電話番号 (夜間)	076-253-3924 (内線: 1861) 該当なし
e-mail	shomu@seiryu-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

経済学部

＜地域システム学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	44
7. その他全般的事項	45

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人稲置学園

(2) 大 学 名

金沢星稜大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒920-8620

石川県金沢市御所町丑10番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	イナオキ シンヤ 稲置慎也 (平成26年4月)		
学 長	オオクボ ヒデアキ 大久保英哲 (令和4年4月)		
学 部 長	ソガ チハル 曾我千春 (令和4年4月)		
学科長等	ソガ チハル 曾我千春 (令和6年4月)	イシカワ ミスミ 石川美澄 (令和6年4月)	教授昇格による学科長への就任(6)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経済学部 地域システム学科 学士(経済)	経済学関係	4年	85人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	340人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	85人 85 () []	人 () []	—	0.72倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	206 () []	人 () []				
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	203 () []	人 () []				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	201 () []	人 () []				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	62 () []	人 () []				
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.72	—				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」に「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
 (春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	62 [－] (－)	－ [－] (－)	
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
4 年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計			－ [－] (－)	－ [－] (－)			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	62 [－] (－)	－ [－] (－)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	62 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の数値を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の数値については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{62} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経済学部 地域システム学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 教育 科目	教養ゼミナールA	1①	1			5	3	1			
	教養ゼミナールB	1②	1			5	3	1			
	教養ゼミナールC	1③	1			5	3	1			
	教養ゼミナールD	1④	1			5	3	1			
	小計(4科目)		4	0	0	5	3	1	0	0	兼0
	教養の門	1①		1							兼9
	教養の世界	3②		1							兼9
	教養ラボ	3③		1							兼9
	総合領域A	1①		1							兼1
	総合領域B	1②		1							兼1
	総合領域C	1④		1				1			
	情報リテラシーⅠ	1①②		1				1			兼7
	情報リテラシーⅡ	1③④		1							兼8
	情報学Ⅰ	1①③		1							兼1
	情報学ⅡA	1②		1							兼1
	情報学ⅡB	1④		1							兼1
	哲学Ⅰ	1①③		1							兼1
	哲学Ⅱ	1②④		1							兼1
	哲学Ⅲ	1③		1							兼1
	論理学Ⅰ	1①③		1							兼2
	論理学Ⅱ	1②④		1							兼2
	心理学Ⅰ	1①③		1							兼1
	心理学Ⅱ	1②④		1							兼1
	心理学Ⅲ	1③		1							兼1
	倫理学Ⅰ	1①③		1							兼1
	倫理学Ⅱ	1②④		1							兼1
	倫理学Ⅲ	1③		1							兼1
	宗教学Ⅰ	1①③		1							兼2
	宗教学Ⅱ	1②④		1							兼2
	歴史学Ⅰ	1①③		1		1					兼1
	歴史学Ⅱ	1②④		1		1					兼1
	人文地理学Ⅰ	1①③		1							兼2
	人文地理学Ⅱ	1②④		1							兼2
	海外の文化と社会Ⅰ	1①		1							兼1
	海外の文化と社会Ⅱ	1②		1							兼1
	海外の文化と社会Ⅲ	1③		1							兼1

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 教育 科目	教養ゼミナールA	1①	1			1	1	1			兼3
	教養ゼミナールB	1②	1								兼1
	教養ゼミナールC	1③	1					1			
	教養ゼミナールD	1④	1				1	1			
	小計(4科目)		4	0	0	1	1	2	0	0	兼4
	教養の門	1①		1							兼10
	教養の世界	3②		1							兼9
	教養ラボ	3③		1							兼9
	総合領域A	1①前		1		3	1				兼7
	総合領域B	1②前		1		2					兼9
	総合領域C	1④		1							兼1
	情報リテラシーⅠ	1①	1								兼1
	情報リテラシーⅡ	1③④		1							兼6
	情報学Ⅰ	1②④		1							兼1
	情報学ⅡA	1②		1							兼1
	情報学ⅡB	1④		1							兼1
	哲学Ⅰ	1①③		1							兼1
	哲学Ⅱ	1②④		1							兼1
	哲学Ⅲ	1③		1							兼1
	論理学Ⅰ	1①③		1							兼2
	論理学Ⅱ	1②④		1							兼2
	心理学Ⅰ	1①③		1							兼1
	心理学Ⅱ	1②④		1							兼1
	心理学Ⅲ	1③		1							兼1
	倫理学Ⅰ	1①③		1							兼2
	倫理学Ⅱ	1②④		1							兼2
	倫理学Ⅲ	1③		1							兼1
	宗教学Ⅰ	1①③		1							兼2
	宗教学Ⅱ	1②④		1							兼2
	歴史学Ⅰ	1①③		1			1				兼1
	歴史学Ⅱ	1②④		1			1				兼1
	人文地理学Ⅰ	1①③		1							兼2
	人文地理学Ⅱ	1②④		1							兼2
	海外の文化と社会Ⅰ	1①		1							兼1
	海外の文化と社会Ⅱ	1②		1							兼1
	海外の文化と社会Ⅲ	1③		1							兼1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 教育 科目	政治学Ⅰ	1②		1							兼1
	政治学Ⅱ	1②		1							兼1
	日本国憲法Ⅰ	1①③		1		1					兼1
	日本国憲法Ⅱ	1②④		1		1					兼1
	社会学A	1②		1							兼1
	社会学B	1④		1							兼1
	異文化コミュニケー	1①③		1							兼1
	異文化コミュニケー	1②④		1							兼1
	メディア論	1②		1							兼1
	教育学	1②		1							兼1
	文化人類学Ⅰ	1①③		1							兼1
	文化人類学Ⅱ	1②④		1							兼1
	自然科学概論Ⅰ	1①③		1							兼2
	自然科学概論Ⅱ	1②④		1							兼2
	教養数学A	1①③		1							兼1
	教養数学B	1②④		1							兼1
	統計学Ⅰ	1①③		1							兼1
	統計学Ⅱ	1②④		1							兼1
	統計学Ⅲ	1③		1							兼1
	MDASHリテラシーⅠ	1①③		1				1			兼4
	MDASHリテラシーⅡ	1②④		1				1			兼4
	自然地理学Ⅰ	1③		1							兼1
	自然地理学Ⅱ	1④		1							兼1
	環境学Ⅰ	1③		1							兼1
	環境学Ⅱ	1④		1							兼1
	生活科学	1④		1							兼1
	美学	1②		1							兼1
	デザイン学A	1②		1							兼2
	デザイン学B	1③		1							兼2
	ウェルビーイングと	1①		1							兼1
	ウェルビーイングと	1②		1							兼1
	スポーツとレジリエ	1③		1							兼1
	スポーツとレジリエ	1④		1							兼1
	健康・スポーツ科学	1①		1							兼1
	健康・スポーツ科学	1②		1							兼1
	言語学	1④		1							兼1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 教育 科目	政治学Ⅰ	1②		1							兼1
	政治学Ⅱ	1②		1							兼1
	日本国憲法Ⅰ	1①③		1							兼1
	日本国憲法Ⅱ	1②④		1							兼1
	社会学A	1①③		1							兼2
	社会学B	1②④		1							兼2
	異文化コミュニケー	1①③		1							兼2
	異文化コミュニケー	1②④		1							兼2
	メディア論	1②		1							兼1
	教育学	1②		1							兼1
	文化人類学Ⅰ	1①③		1							兼2
	文化人類学Ⅱ	1②④		1							兼2
	自然科学概論Ⅰ	1①③		1							兼2
	自然科学概論Ⅱ	1②④		1							兼2
	教養数学A	1①③		1							兼1
	教養数学B	1②④		1							兼1
	統計学Ⅰ	1①③		1							兼3
	統計学Ⅱ	1②④		1							兼3
	統計学Ⅲ	1③		1							兼1
	MDASHリテラシーⅠ	1①③		1							兼1
	MDASHリテラシーⅡ	1②④		1					1		兼1
	自然地理学Ⅰ	1①③		1					1		兼1
	自然地理学Ⅱ	1②④		1					1		兼1
	環境学Ⅰ	1③		1							兼1
	環境学Ⅱ	1④		1							兼1
	生活科学	1④		1							兼1
	美学	1④		1							兼1
	デザイン学A	1②		1							兼2
	デザイン学B	1③		1							兼2
	ウェルビーイングと	1①		1							兼1
	ウェルビーイングと	1②		1							兼1
	スポーツとレジリエ	1③		1							兼1
	スポーツとレジリエ	1④		1							兼1
	健康・スポーツ科学	1①		1							兼1
	健康・スポーツ科学	1②		1							兼1
	言語学	1④		1							兼1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 教育 科目	音声学	1②		1							兼1
	コミュニケーション	1①③		1							兼1
	コミュニケーション	1②④		1							兼1
	日本語上級ⅠA	1①		2							兼1
	日本語上級ⅠB	1②		2							兼1
	日本語上級ⅠC	1③		2							兼1
	日本語上級ⅠD	1④		2							兼1
	日本語上級ⅡA	2前		2							兼1
	日本語上級ⅡB	2後		2							兼1
	日本語リテラシーA	1前		2							兼1
	日本語リテラシーB	1後		2							兼1
	中国語Ⅰ	1①③		2							兼1
	中国語Ⅱ	1②④		2							兼1
	韓国語Ⅰ	1①③		2							兼1
	韓国語Ⅱ	1②④		2							兼1
	College EnglishⅠ	1①	2								兼7
	College EnglishⅡ	1②	2								兼7
	EnglishⅠA	1前後		2							兼1
	EnglishⅠB	1前後		2							兼2
	EnglishⅠC	1前後		2							兼1
	EnglishⅠD	1前後		2							兼1
	EnglishⅡA	2前後		2							兼3
	EnglishⅡB	2前後		2							兼3
	資格英語Ⅰ	1③		2							兼4
	資格英語Ⅱ	1④		2							兼4
	ドイツ語Ⅰ	1①③		2							兼1
	ドイツ語Ⅱ	1②④		2							兼1
	フランス語Ⅰ	1①③		2							兼1
	フランス語Ⅱ	1②④		2							兼1
	スペイン語Ⅰ	1①③		2							兼1
	スペイン語Ⅱ	1②④		2							兼1
	ロシア語Ⅰ	1①③		2							兼1
	ロシア語Ⅱ	1②④		2							兼1
	日本文学A	1②		1							兼1
	日本文学B	1④		1							兼1
	英米文学Ⅰ	1①③		1							兼1
	英米文学Ⅱ	1②④		1							兼1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 教育 科目	音声学入門	1②		1							兼1
	コミュニケーション	1①③		1							兼2
	コミュニケーション	1②④		1							兼2
	日本語上級ⅠA	1①		2							兼1
	日本語上級ⅠB	1②		2							兼1
	日本語上級ⅠC	1③		2							兼1
	日本語上級ⅠD	1④		2							兼1
	日本語上級ⅡA	2前		2							兼1
	日本語上級ⅡB	2後		2							兼1
	日本語リテラシーA	1前		2							兼1
	日本語リテラシーB	1後		2							兼1
	中国語Ⅰ	1①③		2							兼1
	中国語Ⅱ	1②④		2							兼1
	韓国語Ⅰ	1①③		2							兼1
	韓国語Ⅱ	1②④		2							兼1
	College EnglishⅠ	1①	2								兼7
	College EnglishⅡ	1②	2								兼7
	EnglishⅠA	1前後		2							兼1
	EnglishⅠB	1前後		2							兼2
	EnglishⅠC	1前後		2							兼1
	EnglishⅠD	1前後		2							兼1
	EnglishⅡA	2前後		2							兼3
	EnglishⅡB	2前後		2							兼3
	資格英語Ⅰ	1③		2							兼4
	資格英語Ⅱ	1④		2							兼4
	ドイツ語Ⅰ	1①③		2							兼1
	ドイツ語Ⅱ	1②④		2							兼1
	フランス語Ⅰ	1①③		2							兼1
	フランス語Ⅱ	1②④		2							兼1
	スペイン語Ⅰ	1①③		2							兼1
	スペイン語Ⅱ	1②④		2							兼1
	ロシア語Ⅰ	1①③		2							兼1
	ロシア語Ⅱ	1②④		2							兼1
	日本文学A	1②		1							兼1
	日本文学B	1④		1							兼1
	英米文学Ⅰ	1①③		1							兼1
	英米文学Ⅱ	1②④		1							兼1

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手	
共通 教育 科目	教養 教育 科目	英米文学Ⅲ	1③		1							兼1	
		海外研修Ⅰ	1		1							兼1	
		海外研修Ⅱ	1		1							兼1	
		海外研修Ⅲ	1		1							兼1	
		海外研修Ⅳ	1		1							兼1	
		海外研修Ⅴ	1		1							兼1	
		海外研修Ⅵ	1		1							兼1	
		海外研修Ⅶ	1		1							兼1	
		海外研修Ⅷ	1		1							兼1	
		海外研修Ⅸ	1		1							兼1	
		海外研修Ⅹ	1		1							兼1	
	小計（115科目）		4	141	0	2	0	1	0	0	兼48		
	キャ リア 教育 科目	キャリア入門Ⅰ	1①②	1				1				兼1	
		キャリア入門Ⅱ	1③④	1				1				兼1	
		キャリアプランニングⅠ	2①②		1							兼1	
		キャリアプランニングⅡ	2③④		1							兼1	
		チームビルディングⅠ	2前		2							兼1	
		プレゼンテーションⅠ	2後		2							兼1	
		業界課題研究Ⅰ	2③		1							兼1	
		業界課題研究Ⅱ	2④		1							兼1	
		インターンシップⅠ	2後		1			1					
		小計（9科目）		2	9	0	0	1	0	0	0	兼3	
共通教育科目合計（128科目）				10	150	0	5	3	1	0	0	兼51	
専門 教育 科目	学部 必修	経済学入門	1前	2								兼3	
		経営学入門	1後	2								兼3	
		専門ゼミナールⅠ	3前	2			5	3	1				
		専門ゼミナールⅡ	3後	2			5	3	1				
		専門ゼミナールⅢ	4前	2			5	3	1				
		専門ゼミナールⅣ	4後	2			5	3	1				
		卒業研究	4後	2			5	3	1				
		小計（7科目）		14	0	0	5	3	1	0	0	兼5	
	学科 必修	基礎専門ゼミナールⅠ	2前	2			5	3	1				
		基礎専門ゼミナールⅡ	2後	2			5	3	1				
		地域概論	1前	2			5	3	1				
		地域経済入門	1後	2			1						
		フィールドワークⅠ	1後	2			1	2					
		小計（5科目）		10	0	0	5	3	1	0	0	兼0	
		地域 経済・ 地域 データ 分析系	社会調査法	1前		2				1			
			経済数学Ⅰ	1前		2							兼2
	経済数学Ⅱ		1後		2							兼2	
	地域データ分析Ⅰ		1後		2				1				
	ミクロ経済学Ⅰ		1後		2							兼2	
	ミクロ経済学Ⅱ		2前		2							兼2	
	マクロ経済学Ⅰ		1後		2							兼3	
	マクロ経済学Ⅱ		2前		2							兼3	
	地域経済分析入門		2前		2				1				
	経済統計学		2前		2							兼1	
	地域経済学		2後		2		1						
	日本経済論	2後		2							兼1		
	計量経済学	2後		2							兼1		
都市経済学	3前		2							兼1			
経済データ分析	3前		2							兼1			

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通教育科目	教養教育科目	英米文学Ⅲ	1③		1								兼1
		海外研修Ⅰ	1		1								兼1
		海外研修Ⅱ	1		1								兼1
		海外研修Ⅲ	1		1								兼1
		海外研修Ⅳ	1		1								兼1
		海外研修Ⅴ	1		1								兼1
		海外研修Ⅵ	1		1								兼1
		海外研修Ⅶ	1		1								兼1
		海外研修Ⅷ	1		1								兼1
		海外研修Ⅸ	1		1								兼1
		海外研修Ⅹ	1		1								兼1
	小計（115科目）		7	138	0	4	1	1	0	0	兼57		
	キャリア教育科目	キャリア入門Ⅰ	1①②	1				1					兼1
		キャリア入門Ⅱ	1③④	1				1					兼1
		キャリアプランニン	2①②		1								兼1
		キャリアプランニン	2③④		1								兼1
		チームビルディング	2前		2								兼1
		プレゼンテーション	2後		2								兼1
		業界課題研究Ⅰ	2③		1								兼1
		業界課題研究Ⅱ	2④		1								兼1
		キャリア実践演習	2後		1			1					
	小計（9科目）		2	9	0	0	1	0	0	0	兼3		
共通教育科目合計（128科目）				13	147	0	5	2	2	0	0	兼61	
専門教育科目	学部必修	経済学入門	1前	2									兼3
		経営学入門	1後	2									兼1
		専門ゼミナールⅠ	3前	2			5	2	1				兼1
		専門ゼミナールⅡ	3後	2			5	2	1				兼1
		専門ゼミナールⅢ	4前	2			5	2	1				兼1
		専門ゼミナールⅣ	4後	2			5	2	1				兼1
		卒業研究	4後	2			5	2	1				兼1
		小計（7科目）		14	0	0	5	2	1	0	0	兼5	
	学科必修	基礎専門ゼミナール	2前	2			5	2	1				兼1
		基礎専門ゼミナール	2後	2			5	2	1				兼1
		地域概論	1前	2			5	2	2				兼2
		地域経済入門	1後	2			1						
		フィールドワーク基	1後	2			1	1	1				
		小計（5科目）		10	0	0	5	2	2	0	0	兼3	
	学科選択必修	社会調査法	1前		2				1				
		経済数学Ⅰ	1前		2								兼2
		経済数学Ⅱ	1後		2								兼2
		地域データ分析	1後		2				1				
		ミクロ経済学Ⅰ	1後		2								兼2
		ミクロ経済学Ⅱ	2前		2								兼2
		マクロ経済学Ⅰ	1後		2								兼2
		マクロ経済学Ⅱ	2前		2								兼2
		地域経済分析入門	2前		2								兼1
		経済統計学	2前		2								兼1
		地域経済学	2後		2		1						
		日本経済論	2後		2								兼1
		計量経済学	2後		2								兼1
		都市経済学	3前		2								兼1
		経済データ分析	3前		2								兼1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 教育 科目	域環境経済学	3後		2		1					
	法律学概論	1前		2							兼1
	政策形成概論	1後		2		2					
	地域政策論	2前		2		1					
	公共経済学	2前		2							兼1
	文化政策論	2前		2			1				
	財政学	2前		2							兼1
	租税論	2後		2							兼1
	福祉政策論	2後		2		1					
	地域労働政策	2後		2			1				
	日本経済史	2後		2		1					
	都市政策論	2後		2							兼1
	地方財政論	3前		2		1					
	社会政策論	3前		2		1					
	経済政策論Ⅰ	3前		2							兼1
	経済政策論Ⅱ	3後		2							兼1
	社会保障論	3後		2		1					
	地域貢献とボランティア	1前		2		1					
	観光・地域経営学基礎	1後		2			1				
	ホスピタリティ論	2前		2		1					
	観光実務演習Ⅰ	2前		2			1				
	観光実務演習Ⅱ	2前		2			1				
	地域経営論	2前		2		1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 教育 科目	域環境経済学	3後		2		1					
	法律学概論	1後		2							兼1
	政策形成概論	1後		2		1		1			
	地域政策論	2前		2		1					
	公共経済学	2前		2							兼1
	文化政策論	2前		2			1				
	財政学	2前		2							兼1
	租税論	2後		2							兼1
	福祉政策論	2後		2		1					
	地域労働政策	2後		2			1				
	日本経済史	2後		2		1					
	都市政策論	2後		2							兼1
	地方財政論	3前		2		1					
	社会政策論	3前		2		1					
	経済政策論Ⅰ	3前		2							兼1
	経済政策論Ⅱ	3後		2							兼1
	社会保障論	3後		2		1					
	地域貢献とボランティア	1前		2		1					
	観光・地域経営学基礎	1後		2		1					
	ホスピタリティ論	2前		2				1			
	観光実務演習Ⅰ	2前		2		1					
	観光実務演習Ⅱ	2前		2		1					
	地域経営論	2前		2		1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 教 育 科 目	地域産業史	2前		2		1					兼1
	ソーシャル・ビジネ	2前		2							
	観光メディア論	2後		2			1				兼1
	観光文化・社会論	2後		2			1				
	地域創生論	2後		2		1					
	地域企業論	2後		2							
	観光政策論	2後		2		1					
	観光まちづくり論	3前		2			1				
	観光事業論	3前		2			1				
	企業社会論	3前		2							兼1
	小計（48科目）		0	96	0	5	3	1	0	0	兼16
	フィールドワーク応	2後		2			1				兼0
	フィールドワーク応	2後		2			1				
	フィールドワーク応	2後		2		1					
	小計（3科目）		0	6	0	1	2	0	0	0	
	ビジネス基礎演習	1前		2							兼1
	海外社会実習	1前		2		1					兼1
	ビジネスイングリッ	1前		2							
	ビジネスイングリッ	1後		2							兼1
	リサーチ・リテラシ	2前		2							兼2
	外書講読A	2前		2							兼1
	外書講読B	2後		2							兼1
	特殊講義Ⅰ	1前		2							兼1
	特殊講義Ⅱ	1後		2							兼1
	特殊講義Ⅲ	2前		2							兼1
	特殊講義Ⅳ	2後		2							兼1
	小計（11科目）		0	22	0	1	0	0	0	0	兼5
専門教育科目合計（74科目）			24	124	0	5	3	1	0	0	兼17
合計（202科目）			34	274	0	5	3	1	0	0	兼66

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 教 育 科 目	地域産業史	2前		2		1					兼1
	ソーシャル・ビジネ	2前		2							
	観光メディア論	2後		2		1					兼1
	観光文化・社会論	2後		2			1				
	地域創生論	2後		2		1					
	地域企業論	2後		2							
	観光政策論	2後		2				1			
	観光まちづくり論	3前		2			1				
	観光事業論	3前		2		1					
	企業社会論	2後		2							兼1
	小計（48科目）		0	96	0	5	2	2	0	0	兼11
	フィールドワーク応	2後		2			1				兼0
	フィールドワーク応	2後		2		1					
	フィールドワーク応	2後		2				1			
	小計（3科目）		0	6	0	1	1	1	0	0	兼0
	ビジネス基礎演習	1前		2							兼1
	海外社会実習	1前		2		1					兼1
	ビジネスイングリッ	1前		2							
	ビジネスイングリッ	1後		2							兼1
	リサーチ・リテラシ	2前		2							兼2
	外書講読A	2前		2							兼1
	外書講読B	2後		2							兼1
	特殊講義Ⅰ	1前		2		1					兼2
	特殊講義Ⅱ	1後		2							兼1
	特殊講義Ⅲ	2前		2		1					兼1
	特殊講義Ⅳ	2後		2		1					兼1
	小計（11科目）		0	22	0	2	0	0	0	0	兼7
専門教育科目合計（74科目）			24	124	0	5	2	2	0	0	兼21
合計（202科目）			37	271	0	5	3	2	0	0	兼77

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

・2024年4月今村智子准教授就任、船木大資講師就任。山本輝太郎講師は他学部等へ所属。「教養ゼミナールA」を9クラスから3クラス開講としたため、専任教員等の配置を「教授5」から「教授1」に変更、及び「准教授3」から「准教授1」に変更。 ・山本輝太郎講師は他学部等へ所属。「教養ゼミナールB」を9クラスから3クラス開講としたため、専任教員等の配置を「教授5」から「教授0」に変更、及び「准教授3」から「准教授0」に変更、及び「講師1」から「講師0」、及び「兼0」から「兼3」に変更。 ・2024年4月呉星辰講師就任。山本輝太郎講師は他学部等へ所属。「教養ゼミナールC」を9クラスから3クラス開講としたため、専任教員等の配置を「教授5」から「教授0」に変更、及び「准教授3」から「准教授0」に変更、及び「兼0」から「兼1」に変更。 ・2024年4月今村智子准教授就任、船木大資講師就任。山本輝太郎講師は他学部等へ所属。「教養ゼミナールD」を9クラスから3クラス開講としたため、専任教員等の配置を「教授5」から「教授0」に変更、及び「准教授3」から「准教授1」に変更。 ・時間割調整のため、「教養の門」の兼任数を「兼9」から「兼10」に変更。 ・教育内容の充実を図るため、「総合領域A」の配当期を「1①」から「1①前」に変更、専任教員等の配置を「教授0」から「教授3」、「准教授0」から「准教授1」、及び兼任数を「兼1」から「兼7」に変更。 ・教育内容の充実を図るため、「総合領域B」の配当期を「1②」から「1②前」に変更、専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」、及び、兼任数を「兼1」から「兼9」に変更。 ・山本輝太郎講師は他学部等へ所属。「総合領域C」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更、及び「兼0」から「兼1」に変更。 ・教育内容の充実を図るため、「情報リテラシーI」の単位数を「必修0」から「必修1」に変更、及び「選択1」から「選択0」に変更。 ・山本輝太郎講師は他学部等へ所属。「情報リテラシーI」を8クラスから1クラス開講としたため、専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更、及び「兼7」から「兼1」に変更。配当期を「1①②」から「1②」に変更。 ・時間割調整のため、「情報リテラシーI」の配当期を「1①②」から「1②」に変更。 ・時間割調整のため、「情報リテラシーII」の兼任数を「兼8」から「兼6」に変更。 ・時間割調整のため、「情報学I」の配当期を「1①②」から「1②④」に変更。 ・時間割調整のため、「倫理学I」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。 ・時間割調整のため、「倫理学II」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。 ・時間割調整のため、「日本国憲法I」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。 ・時間割調整のため、「日本国憲法II」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。 ・時間割調整のため、「社会学A」の配当期を「1②」から「1①③」に変更、及び、兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。 ・時間割調整のため、「社会学B」の配当期を「1④」から「1②④」に変更、及び、兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。 ・時間割調整のため、「異文化コミュニケーション論I」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。 ・時間割調整のため、「異文化コミュニケーション論II」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。 ・教育内容の充実を図るため、「文化人類学I」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。 ・教育内容の充実を図るため、「文化人類学II」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。 ・教育内容の充実を図るため、「統計学I」の兼任数を「兼1」から「兼3」に変更。 ・教育内容の充実を図るため、「統計学II」の兼任数を「兼1」から「兼3」に変更。 ・時間割調整のため、「自然地理学I」の配当期を「1③」から「1①③」に変更。 ・時間割調整のため、「自然地理学II」の配当期を「1④」から「1②④」に変更。 ・2024年4月呉星辰講師就任。教育内容の充実を図るため、「自然地理学II」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。 ・時間割調整のため、「美学」の配当期を「1②」から「1④」に変更。 ・教育内容の充実を図るため、「音声学」の授業科目の名称を「音声学入門」に変更。 ・教育内容の充実を図るため、「コミュニケーション論I」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。 ・教育内容の充実を図るため、「MDASHリテラシーI」の単位数を「必修0」から「必修1」に変更、及び「選択1」から「選択0」に変更。 ・山本輝太郎講師は他学部等へ所属。「MDASHリテラシーI」を5クラスから1クラス開講としたため、専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更、及び「兼4」から「兼1」に変更。 ・2024年4月呉星辰講師就任。山本輝太郎講師は他学部等へ所属。「MDASHリテラシーII」を5クラスから1クラス開講としたため、兼任数を「兼4」から「兼0」に変更。・教育内容の充実を図るため、「コミュニケーション論II」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。 ・教育内容の充実を図るため、「インターンシップ」の授業科目の名称を「キャリア実践演習」に変更。 ・「経営学入門」は3クラスから1クラス開講としたため、兼任数を「兼3」から「兼1」に変更。 ・他大学就任で2024年3月岡達哉教授退職、竹谷多賀子准教授退職。2024年4月石川美澄准教授が教授へ就任、今村智子准教授就任、船木大資講師就任。山本輝太郎講師は他学部等へ所属。「専門ゼミナールI」「専門ゼミナールII」「専門ゼミナールIII」「専門ゼミナールIV」「卒業研究」「基礎専門ゼミナールI」「基礎専門ゼミナールII」の専任教員数の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更、「兼0」から「兼1」に変更。 ・他大学就任で2024年3月竹谷多賀子准教授退職。2024年4月今村智子准教授就任、船木大資講師就任、呉星辰講師就任。山本輝太郎講師は他学部等へ所属。「地域概論」の専任教員数の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更、及び「講師1」から「講師2」に変更。 ・9名でのオムニバス方式を11名でのオムニバス方式に変更したため、「地域概論」の兼任数を「兼0」から「兼2」に変更。 ・他大学就任で2024年3月原嶋耐治教授退職により、「マクロ経済学I」「マクロ経済学II」の兼任数を「兼3」から「兼2」に変更。 ・山本輝太郎講師は他学部等へ所属。「地域経済学分析入門」の専門教員数の配置を「講師1」から「講師0」に変更、及び「兼0」から「兼1」に変更。 ・時間割調整のため、「フィールドワーク基礎演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更、「講師0」から「講師1」に変更。 ・時間割調整のため、「法律学概論」の配当期を「1前」から「1後」に変更。 ・他大学就任で2024年3月岡達哉教授退職、2024年4月船木大資講師就任。「ホスピタリティ論」「観光政策論」「フィールドワーク応用演習」の専任教員数の配置を「教授1」から「教授0」に変更、「講師0」から「講師1」に変更。 ・2024年4月石川美澄准教授が教授へ就任。「観光実務演習I」「観光実務演習II」「観光メディア論」「観光事業論」「フィールドワーク応用演習b」の専任教員数の配置を「教授0」から「教授1」に変更、「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・他大学就任で2024年3月岡達哉教授退職、竹谷多賀子准教授退職。2024年4月石川美澄准教授が教授へ就任、呉星辰講師就任。「フィールドワーク基礎演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更、「講師0」から「講師1」に変更。 ・時間割調整のため、「法律学概論」の配当期を「1前」から「1後」に変更。 ・他大学就任で2024年3月岡達哉教授退職により、「政策形成概論」の担当を船木大資講師に変更し、専任教員数の配置を「教授2」から
--

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度 (令和5年度開設であれば令和4年度以前) の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	182 科目	0 科目	202 科目	20 科目 []	182 科目 []	0 科目 []	202 科目 []	(記入例：指定規則の場合) 【旧カリキュラム】 設置時の計画：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計 (A) ○科目 変更状況：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計○科目

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{202} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	金沢星稜大学女子短期 大学部(必要面積 3,000 ㎡)と共用 (収容定員: 300人) 【借地面積】 【校舎面積】 借用面積: 4,573㎡ 平成26年5月1日より 借用期間: 30年 借用面積: 1,359㎡ 平成27年1月1日より 借用期間: 30年 借用面積: 671㎡ 平成27年1月1日より 借用期間: 22年30年 借用面積: 330㎡ 平成27年1月1日より 借用期間: 30年 〔運動場用地〕 借用面積: 3,168㎡ 平成26年5月1日より 借用期間: 30年 借用面積: 1,413㎡ 平成27年1月1日より 借用期間: 30年 〔その他〕 借用面積: 4,111.83 ㎡ 借用期間: 2年 借用面積: 303㎡ 借用期間: 2年 借地面積計 15,928.83			
	校 舎 敷 地	0㎡	35,001.00㎡	0㎡	35,001.00㎡				
	運動場用地	0㎡	105,029.79㎡ 34,312.79㎡	0㎡	105,029.79㎡ 34,312.79㎡				
	小 計	0㎡	140,030.79㎡ 69,313.79㎡	0㎡	140,030.79㎡ 69,313.79㎡				
	そ の 他	108,830.00㎡ 0㎡	0㎡ 6,649.15㎡	0㎡	108,830.00㎡ 0㎡				
校 地 等	合 計	108,830.00㎡ 0㎡	140,030.79㎡ 75,913.62㎡	0㎡	248,860.79㎡ 75,913.62㎡				
(2) 校 舎	専 用	3584.48㎡	23,028.36㎡	2,003.20㎡	28,616.04㎡	金沢星稜大学女子短期 大学部と共用			
	(3584.48㎡)	(23,028.36㎡)	(2,003.20㎡)	(28,616.04㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	39室 38室	34室	7室	6室 (補助職員 1人)	1室 (補助職員 1人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	地域システム学科			9 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部等単位での特定 不能なため、大学全 体の数	
	大学全体	185,796 [27,104] (181,129 [27,093])	2,527 [208] (2,527 [208])	35 [35] (281 [281])	2,885 (2,881)	0 (0)	0 (0)		
	計	185,796 [27,104] (181,129 [27,093])	2,527 [208] (2,527 [208])	35 [35] (281 [281])	2,885 (2,881)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	1,912.07㎡	270		203,570					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体		
	4,974.44㎡	星稜スポーツセンター(剣道場、 STUDIO、空手道場等を含む) テ ニ ス コ ー ト 6 面							
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	4,525千円	4,525千円	4,525千円	
	共 同 研 究 費 等	6,500千円	6,500千円	設備購入費	1,500千円	500千円	500千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,200千円	1050千円	1050千円	1050千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考		
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度				
経済学部	4	440	0	1760	-	1.07	-	-	昭和42	-	令和6年度から入学定員変更(270→220) 令和6年度から入学定員変更(170→135)		
経済学科	4	220	0	1030	学士(経済)	1.06	-	-	昭和42	石川県金沢市御所町五10番地1			
経営学科	4	135	0	645	学士(経営学)	1.11	-	-	平成16	同上			
地域システム学科	4	85	0	85	学士(経済)	0.72	-	-	令和6	同上			
人間科学部	4	143	0	572	-	1.08	-	-	平成19	-	令和6年度から入学定員変更(270→220) 令和6年度から入学定員変更(170→135)		
スポーツ学科	4	75	0	300	学士(人間科学)	1.03	-	-	平成19	石川県金沢市御所町五10番地1			
こども学科	4	68	0	272	学士(人間科学)	1.12	-	-	平成19	同上			
人文学部	4	75	0	300	-	0.97	-	-	平成28	-			
国際文化学科	4	75	0	300	学士(人文学)	0.97	-	-	平成28	石川県金沢市御所町五10番地1			
大学全体	4	658	0	2632	-	-	-	-	-	-			

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<経済学部 地域システム学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部/ 学 科長)	曾我 千春 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		教養ゼミナールA 教養ゼミナールB 教養ゼミナールC 教養ゼミナールD 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ 地域概論※ 政策形成概論※ 基礎専門ゼミナールⅠ 基礎専門ゼミナールⅡ 福祉政策論 社会政策論 社会保障論 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ 卒業研究
専	教授 (副学 長)	新 広昭 ＜令和6年4月＞ 博士(社会環境科学)
		教養ゼミナールA 教養ゼミナールB 教養ゼミナールC 教養ゼミナールD 地域概論※ 地域貢献とボランティア 基礎専門ゼミナールⅠ 基礎専門ゼミナールⅡ 地域経営論 地域創生論 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ 卒業研究

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学 部 長)	曾我 千春 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		地域概論※ 政策形成概論※ 基礎専門ゼミナールⅠ 基礎専門ゼミナールⅡ 福祉政策論 社会政策論 社会保障論 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ 卒業研究 総合領域A※ 総合領域B※
専	教授 (副学 長)	新 広昭 ＜令和6年4月＞ 博士(社会環境科学)
		地域概論※ 地域貢献とボランティア 基礎専門ゼミナールⅠ 基礎専門ゼミナールⅡ 地域経営論 地域創生論 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ 卒業研究 総合領域A※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	青木 卓志 ＜令和6年4月＞ 博士（社会環境科学）
		教養ゼミナールA 教養ゼミナールB 教養ゼミナールC 教養ゼミナールD 地域概論※ 地域経済入門 海外社会実習 基礎専門ゼミナールⅠ 基礎専門ゼミナールⅡ 地域政策論 地域経済学 地方財政論 環境経済学 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ 卒業研究
専	教授	岡 達哉 ＜令和6年4月＞ Master of Public Administration(米国)
		教養ゼミナールA 教養ゼミナールB 教養ゼミナールC 教養ゼミナールD 地域概論※ フィールドワーク基礎演習※ 政策形成概論※ ホスピタリティ論 フィールドワーク応用演習c 基礎専門ゼミナールⅠ 基礎専門ゼミナールⅡ 観光政策論 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	青木 卓志 ＜令和6年4月＞ 博士（社会環境科学）
		教養ゼミナールA 地域概論※ 地域経済入門 海外社会実習 基礎専門ゼミナールⅠ 基礎専門ゼミナールⅡ 地域政策論 地域経済学 地方財政論 環境経済学 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ 卒業研究 特殊講義Ⅰ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	本康 宏史 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		教養ゼミナールA 教養ゼミナールB 教養ゼミナールC 教養ゼミナールD 歴史学Ⅰ 歴史学Ⅱ 地域概論※ 基礎専門ゼミナールⅠ 基礎専門ゼミナールⅡ 地域産業史 日本経済史 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ 卒業研究
専	准教授	神崎（牧野） 淳子 ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		教養ゼミナールA 教養ゼミナールB 教養ゼミナールC 教養ゼミナールD キャリア入門Ⅰ キャリア入門Ⅱ 地域概論※ インターンシップ 基礎専門ゼミナールⅠ 基礎専門ゼミナールⅡ 地域労働政策 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	本康 宏史 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		歴史学Ⅰ 歴史学Ⅱ 地域概論※ 基礎専門ゼミナールⅠ 基礎専門ゼミナールⅡ 地域産業史 日本経済史 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ 卒業研究 総合領域A※
専	准教授	神崎（牧野） 淳子 ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		キャリア入門Ⅰ キャリア入門Ⅱ 地域概論※ キャリア実践演習 基礎専門ゼミナールⅠ 基礎専門ゼミナールⅡ 地域労働政策 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ 卒業研究 総合領域A※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	石川（佐古田） 美澄 ＜令和6年4月＞ 博士（観光学）
		教養ゼミナールA 教養ゼミナールB 教養ゼミナールC 教養ゼミナールD 地域概論※ フィールドワーク基礎演習※ 観光学基礎 観光実務演習Ⅰ 観光実務演習Ⅱ 基礎専門ゼミナールⅠ 基礎専門ゼミナールⅡ フィールドワーク応用演習b 観光メディア論 観光事業論 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ
専	准教授	竹谷 多賀子 ＜令和6年4月＞ 修士（都市政策）
		教養ゼミナールA 教養ゼミナールB 教養ゼミナールC 教養ゼミナールD 地域概論※ フィールドワーク基礎演習※ 基礎専門ゼミナールⅠ 基礎専門ゼミナールⅡ 文化政策論 フィールドワーク応用演習a 観光文化・社会論 観光まちづくり論 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学 科 長)	石川（佐古田） 美澄 ＜令和6年4月＞ 博士（観光学）
		地域概論※ フィールドワーク基礎演習※ 観光学基礎 観光実務演習Ⅰ 観光実務演習Ⅱ 基礎専門ゼミナールⅠ 基礎専門ゼミナールⅡ フィールドワーク応用演習b 観光メディア論 観光事業論 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ 卒業研究 総合領域B※
兼任	講師	竹谷 多賀子 ＜令和6年4月＞ 修士（都市政策）
		地域概論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	山本 輝太郎 ＜令和6年4月＞ 博士(情報コミュニケーション学)
		MDASHリテラシーⅠ MDASHリテラシーⅡ 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 総合領域C 教養ゼミナールA 教養ゼミナールB 教養ゼミナールC 教養ゼミナールD 地域概論※ 社会調査法 地域データ分析 地域経済分析入門 基礎専門ゼミナールⅠ 基礎専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	今村 智子 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		教養ゼミナールA 教養ゼミナールD 地域概論※ フィールドワーク基礎演習※ 基礎専門ゼミナールⅠ 基礎専門ゼミナールⅡ 文化政策論 フィールドワーク応用演習a 観光文化・社会論 観光まちづくり論 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ 卒業研究
兼任	講師	山本 輝太郎 ＜令和6年4月＞ 博士(情報コミュニケーション学)
		情報リテラシーⅡ 総合領域C 教養ゼミナールB 教養の門※ 地域経済分析入門 基礎専門ゼミナールⅠ 基礎専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ 卒業研究 総合領域B※ コミュニケーション論Ⅰ コミュニケーション論Ⅱ
専	講師	呉 星辰 ＜令和6年4月＞ 博士（知識科学）
		教養ゼミナールC MDASHリテラシーⅡ 自然地理学Ⅰ 自然地理学Ⅱ 地域概論※ 社会調査法 地域データ分析

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐々木 康成 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		教養の門 デザイン学A デザイン学B 情報学Ⅰ 情報学ⅡA 情報学ⅡB 心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 心理学Ⅲ 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 教養の世界 教養ラボ
兼任	教授	ブローダウェイ リック ＜令和6年4月＞ Master of Arts Education (米国)
		教養の門 フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 言語学 教養の世界 教養ラボ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	船木 大資 ＜令和6年4月＞ 修士（世界遺産学）
		教養ゼミナールA 教養ゼミナールD 地域概論※ フィールドワーク基礎演習※ 政策形成概論※ ホスピタリティ論 フィールドワーク応用演習c 基礎専門ゼミナールⅠ 基礎専門ゼミナールⅡ 観光政策論 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ 卒業研究
兼任	教授	佐々木 康成 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		教養の門※ デザイン学A デザイン学B 情報学Ⅰ 情報学ⅡA 情報学ⅡB 心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 心理学Ⅲ 情報リテラシーⅡ 教養の世界 教養ラボ 総合領域A※ 総合領域B※
兼任	教授	ブローダウェイ リック ＜令和6年4月＞ Master of Arts Education (米国)
		教養の世界 教養ラボ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	辻 建一 ＜令和6年4月＞ 修士（英語英文学）※
		教養の門 College English I College English II English II B 英米文学 I 英米文学 II 英米文学 III 海外の文化と社会 I 海外の文化と社会 II 海外の文化と社会 III 教養の世界 教養ラボ
兼任	教授	中村 朱美 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		教養の門 日本語リテラシーA 日本語リテラシーB 日本文学A 日本語上級 I A 日本語上級 I B 日本語上級 I C 日本語上級 I D 日本語上級 II A 日本語上級 II B 教養の世界 教養ラボ
兼任	教授	石野 卓也 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		経済数学 I 経済数学 II 経済統計学 計量経済学 都市経済学 都市政策論
兼任	教授	川島 哲 ＜令和6年4月＞ 修士（国際関係学）※
		経済学入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	辻 建一 ＜令和6年4月＞ 修士（英語英文学）※
		教養の門※ College English I College English II English II B 英米文学 I 英米文学 II 英米文学 III 海外の文化と社会 I 海外の文化と社会 II 海外の文化と社会 III 教養の世界 教養ラボ
兼任	教授	中村 朱美 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		教養の門※ 日本語リテラシーA 日本語リテラシーB 日本語上級 I A 日本語上級 I B 日本語上級 I C 日本語上級 I D 日本語上級 II A 日本語上級 II B 教養の世界 教養ラボ 日本文学B
兼任	教授	石野 卓也 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		経済数学 I 経済数学 II 経済統計学 計量経済学 都市経済学 都市政策論
兼任	教授	川島 哲 ＜令和6年4月＞ 修士（国際関係学）※
		経済学入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木村 正信 ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）※
		マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 特殊講義Ⅰ 特殊講義Ⅱ リサーチ・リテラシー 経済データ分析 経済政策論Ⅰ 経済政策論Ⅱ
兼任	教授	ジョマダル ナシル ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		ビジネスイングリッシュⅠ ビジネスイングリッシュⅡ 外書講読B
兼任	教授	宋 涛 ＜令和7年4月＞ 博士（経済学）
		公共経済学
兼任	教授	中尾 真和 ＜令和7年4月＞ 法務博士（専門職）
		租税論
兼任	教授	原嶋 耐治 ＜令和6年4月＞ 経済学士
		マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 財政学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木村 正信 ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）※
		マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 特殊講義Ⅰ✖ リサーチ・リテラシー 経済データ分析 経済政策論Ⅰ 経済政策論Ⅱ
兼任	教授	ジョマダル ナシル ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		ビジネスイングリッシュⅠ ビジネスイングリッシュⅡ 外書講読B
兼任	教授	宋 涛 ＜令和7年4月＞ 博士（経済学）
		公共経済学
兼任	教授	中尾 真和 ＜令和7年4月＞ 法務博士（専門職）
		租税論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山本 英司 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		経済学入門 外書講読A
兼任	教授	吉田 隆 ＜令和7年4月＞ 博士（商学）
		日本経済論
兼任	教授	野林 晴彦 ＜令和6年4月＞ 博士（経営学）
		経営学入門
兼任	教授	奥田 鉄人 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		健康・スポーツ科学論A 健康・スポーツ科学論B
兼任	教授	永坂 正夫 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		環境学Ⅰ 環境学Ⅱ 自然科学概論Ⅰ 自然科学概論Ⅱ
兼任	教授	馬場 治 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		日本文学B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山本 英司 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		経済学入門 外書講読A
兼任	教授	吉田 隆 ＜令和7年4月＞ 博士（商学）
		日本経済論
兼任	教授	野林 晴彦 ＜令和6年4月＞ 博士（経営学）
		経営学入門
兼任	教授	奥田 鉄人 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		健康・スポーツ科学論A 健康・スポーツ科学論B
兼任	教授	永坂 正夫 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		環境学Ⅰ 環境学Ⅱ 自然科学概論Ⅰ 自然科学概論Ⅱ
兼任	教授	馬場 治 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		日本文学A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	バイヤー アヒム ＜令和6年4月＞ Doktor der Philosophie (ドイツ)
		宗教学Ⅰ 宗教学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	バイヤー アヒム ＜令和6年4月＞ Doktor der Philosophie (ドイツ)
		宗教学Ⅰ 宗教学Ⅱ
兼任	教授	大重 斉 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		教養ゼミナールC 経済学入門 ミクロ経済学Ⅰ 財政学
兼任	教授	大久保 英哲 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		総合領域A※
兼任	教授	大森 重宜 ＜令和6年4月＞ 博士（スポーツ科学）
		総合領域B※
兼任	教授	齋藤 千恵 ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy Anthropology
		総合領域B※
兼任	教授	中村 明 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		特殊講義Ⅰ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	永井 暁行 ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）
		教養の門 教育学 教養の世界 教養ラボ 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ 海外研修Ⅴ 海外研修Ⅵ 海外研修Ⅶ 海外研修Ⅷ 海外研修Ⅸ 海外研修Ⅹ
兼任	准教授	森 延江 ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy Linguistics (米国)
		教養の門 音声学 教養の世界 教養ラボ
兼任	准教授	野口 将輝 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		経営学入門 特殊講義Ⅲ 特殊講義Ⅳ リサーチ・リテラシー
兼任	准教授	小熊 和雄 ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）
		経済学入門 ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ
兼任	准教授	庫川 幸秀 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		経済数学Ⅰ 経済数学Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	永井 暁行 ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）
		教養の門※ 教養の世界 教養ラボ 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ 海外研修Ⅴ 海外研修Ⅵ 海外研修Ⅶ 海外研修Ⅷ 海外研修Ⅸ 海外研修Ⅹ
兼任	准教授	森 延江 ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy Linguistics (米国)
		教養の門※ 音声学入門 教養の世界 教養ラボ
兼任	講師	野口 将輝 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		特殊講義Ⅲ 特殊講義Ⅳ リサーチ・リテラシー
兼任	准教授	庫川 幸秀 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		経済数学Ⅰ 経済数学Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	土屋 仁美 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）
		法律学概論 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
兼任	准教授	中尾 公一 ＜令和6年4月＞ 博士（経営学）
		経営学入門 ソーシャル・ビジネス論 地域企業論 企業社会論
兼任	准教授	桑野（葉野） 明 ＜令和6年4月＞ Doctora por la Universitat Ramon Llull （スペイン）
		宗教学Ⅰ 宗教学Ⅱ
兼任	准教授	坂井 紀公子 ＜令和6年4月＞ 博士（地域研究）
		人文地理学Ⅰ 人文地理学Ⅱ
兼任	准教授	朝田 郁 ＜令和6年4月＞ 博士（地域研究）
		異文化コミュニケーション論Ⅰ 異文化コミュニケーション論Ⅱ 文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	土屋 仁美 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）
		日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ 総合領域A※
兼任	教授	中尾 公一 ＜令和6年4月＞ 博士（経営学）
		ソーシャル・ビジネス論 地域企業論 企業社会論 総合領域A※
兼任	准教授	桑野（葉野） 明 ＜令和6年4月＞ Doctora por la Universitat Ramon Llull （スペイン）
		宗教学Ⅰ 宗教学Ⅱ
兼任	准教授	坂井 紀公子 ＜令和6年4月＞ 博士（地域研究）
		人文地理学Ⅰ 人文地理学Ⅱ
兼任	准教授	朝田 郁 ＜令和6年4月＞ 博士（地域研究）
		異文化コミュニケーション論Ⅰ 異文化コミュニケーション論Ⅱ 文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ
兼任	准教授	高間 佐知子 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）
		法律学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	特任准 教授	北本 泰則 ＜令和6年4月＞ 商経学士
		キャリア入門Ⅰ キャリア入門Ⅱ
兼任	講師	大畠 菜穂子 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		教養の門 教養の世界 教養ラボ
兼任	講師	二口 聡 ＜令和6年4月＞ 修士（工学）※
		教養の門 デザイン学A MDASHリテラシーⅠ MDASHリテラシーⅡ 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 統計学Ⅲ 教養数学A 教養数学B 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 教養の世界 教養ラボ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教 授	中原 聖乃 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ
兼任	特任准 教授	北本 泰則 ＜令和6年4月＞ 商経学士
		キャリア入門Ⅰ キャリア入門Ⅱ
兼任	講師	大畠 菜穂子 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		教養の門※ 教養の世界 教養ラボ 総合領域B※
兼任	講師	二口 聡 ＜令和6年4月＞ 修士（工学）※
		教養の門※ 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 統計学Ⅲ 教養数学A 教養数学B 情報リテラシーⅡ 教養の世界 教養ラボ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	寺嶋 雅彦 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		教養の門 総合領域A 総合領域B 自然科学概論Ⅰ 自然科学概論Ⅱ 哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 哲学Ⅲ 美学 倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ 倫理学Ⅲ 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 教養の世界 教養ラボ
兼任	講師	田中 頌宇将 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ
兼任	講師	牧野 耀 ＜令和6年4月＞ 博士（経営学）
		情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ
兼任	講師	塩田 耕平 ＜令和6年4月＞ 博士（スポーツ科学）
		スポーツとレジリエンスA スポーツとレジリエンスB
兼任	助教	岡室 憲明 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		ウェルビーイングと健康A ウェルビーイングと健康B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	寺嶋 雅彦 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		教養ゼミナールB 教養の門※ 総合領域A 総合領域B 自然科学概論Ⅰ 自然科学概論Ⅱ 哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 哲学Ⅲ 美学 倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ 情報リテラシーⅡ 教養の世界 教養ラボ
兼任	准教授	田中 頌宇将 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ
兼任	准教授	牧野 耀 ＜令和6年4月＞ 博士（経営学）
		情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ
兼任	准教授	塩田 耕平 ＜令和6年4月＞ 博士（スポーツ科学）
		スポーツとレジリエンスA スポーツとレジリエンスB
兼任	講師	岡室 憲明 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		ウェルビーイングと健康A ウェルビーイングと健康B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	上田 夏世 ＜令和6年4月＞ 学士（言語・文化） College English I College English II 資格英語 I 資格英語 II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 将 ＜令和6年4月＞ 博士（学術） 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 自然地理学Ⅰ 自然地理学Ⅱ 総合領域B※
兼任	講師	門前 斐紀 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学） 教養ゼミナールB 教養の門※ 倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ 倫理学Ⅲ 異文化コミュニケーション論Ⅰ 異文化コミュニケーション論Ⅱ 教育学
兼任	講師	連 桃季恵 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 総合領域B※
兼任	助教	松本 大貴 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学） 言語学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	堀口 英則 ＜令和7年4月＞ 文学士
		チームビルディング プレゼンテーションスキルズ
兼任	准教授	山田 範子 ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		メディア論
兼任	准教授	手塚 貴子 ＜令和6年4月＞ 修士(社会学)
		生活科学
兼任	准教授	ヒセット ヘレン ＜令和7年4月＞ MASTER IN EDUCATION in the faculty of humanities (イギリス)
		English II A
兼任	講師	青木 賢人 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		自然地理学 I 自然地理学 II
兼任	講師	伊藤 悟 ＜令和6年4月＞ 理学博士
		人文地理学 I 人文地理学 II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	堀口 英則 ＜令和7年4月＞ 文学士
		チームビルディング プレゼンテーションスキルズ
兼任	教授	山田 範子 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		メディア論 総合領域B※
兼任	講師	手塚 貴子 ＜令和6年4月＞ 修士(社会学)
		生活科学 社会学A 社会学B
兼任	准教授	ヒセット ヘレン ＜令和7年4月＞ MASTER IN EDUCATION in the faculty of humanities (イギリス)
		English II A
兼任	講師	伊藤 悟 ＜令和6年4月＞ 理学博士
		人文地理学 I 人文地理学 II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	丸山 敦 ＜令和6年4月＞ 修士(学術)
		歴史学Ⅰ 歴史学Ⅱ
兼任	講師	竹中 祐二 ＜令和6年4月＞ 博士(福祉社会学)
		社会学A 社会学B
兼任	講師	木村 高宏 ＜令和6年4月＞ 博士(政策科学)
		政治学Ⅰ 政治学Ⅱ
兼任	講師	徳前 嘉子 ＜令和6年4月＞ 経済学士
		情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ MDASHリテラシーⅠ MDASHリテラシーⅡ
兼任	講師	飯田 茂美 ＜令和6年4月＞ 短期大学情報処理学科卒
		情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ MDASHリテラシーⅠ MDASHリテラシーⅡ
兼任	講師	河合 一彦 ＜令和6年4月＞ 修士(水産学)
		情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ MDASHリテラシーⅠ MDASHリテラシーⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	丸山 敦 ＜令和6年4月＞ 修士(学術)
		歴史学Ⅰ 歴史学Ⅱ
兼任	講師	木村 高宏 ＜令和6年4月＞ 博士(政策科学)
		政治学Ⅰ 政治学Ⅱ
兼任	講師	河合 一彦 ＜令和6年4月＞ 修士(水産学)
		情報リテラシーⅡ MDASHリテラシーⅠ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	杉原 美佐子 ＜令和6年4月＞ 文学士
		ビジネス基礎演習 キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 業界課題研究Ⅰ 業界課題研究Ⅱ
兼任	講師	中川 将志 ＜令和6年4月＞ 学士（情報学）
		コミュニケーション論Ⅰ コミュニケーション論Ⅱ 論理学Ⅰ 論理学Ⅱ デザイン学B
兼任	講師	村中 達矢 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		論理学Ⅰ 論理学Ⅱ
兼任	講師	中西 久子 ＜令和6年4月＞ 文学士
		College EnglishⅠ College EnglishⅡ 資格英語Ⅰ 資格英語Ⅱ
兼任	講師	正木（澤田） 恵美 ＜令和6年4月＞ 修士（英語学）
		College EnglishⅠ College EnglishⅡ 資格英語Ⅰ 資格英語Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	杉原 美佐子 ＜令和6年4月＞ 文学士
		ビジネス基礎演習 キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 業界課題研究Ⅰ 業界課題研究Ⅱ
兼任	講師	中川 将志 ＜令和6年4月＞ 学士（情報学）
		コミュニケーション論Ⅰ コミュニケーション論Ⅱ 論理学Ⅰ 論理学Ⅱ デザイン学A デザイン学B
兼任	講師	村中 達矢 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		論理学Ⅰ 論理学Ⅱ
兼任	講師	中西 久子 ＜令和6年4月＞ 文学士
		College EnglishⅠ College EnglishⅡ 資格英語Ⅰ 資格英語Ⅱ
兼任	講師	正木（澤田） 恵美 ＜令和6年4月＞ 修士（英語学）
		College EnglishⅠ College EnglishⅡ 資格英語Ⅰ 資格英語Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	半井 典子 ＜令和7年4月＞ Postgraduate Certificate (英国)
		English II B
兼任	講師	金谷 永美子 ＜令和6年4月＞ 学士（法学）
		College English I College English II 資格英語 I 資格英語 II
兼任	講師	前川 未知雄 ＜令和6年4月＞ 学士（社会学）
		College English I College English II
兼任	講師	カリー カーラ ＜令和6年4月＞ 修士 (英語教育学) (TESOL) (米国)
		English I B English I D
兼任	講師	川村 義治 ＜令和6年4月＞ 博士(外国語教育学)
		College English I College English II English II B
兼任	講師	ロハス ジェニファー (垣坂 愛) ＜令和6年4月＞ Tourism Management at Philippine Women's University
		English I A English I C English II A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	半井 典子 ＜令和7年4月＞ Postgraduate Certificate (英国)
		English II B
兼任	講師	前川 未知雄 ＜令和6年4月＞ 学士（社会学）
		College English I College English II
兼任	講師	カリー カーラ ＜令和6年4月＞ 修士 (英語教育学) (TESOL) (米国)
		English I B English I D College English I College English II 資格英語 I 資格英語 II
兼任	講師	川村 義治 ＜令和6年4月＞ 博士(外国語教育学)
		College English I College English II English II B
兼任	講師	ロハス ジェニファー (垣坂 愛) ＜令和6年4月＞ Tourism Management at Philippine Women's University
		English I A English I C English II A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	バートロ ステファン ＜令和6年4月＞ 学士（教育学） （オーストラリア）
		English I B English II A
兼任	講師	金 萍 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		中国語 I 中国語 II
兼任	講師	館農 ユーリヤ ＜令和6年4月＞ 学士（書誌学） （ソビエト連邦）
		ロシア語 I ロシア語 II
兼任	講師	崔 チョンア ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		韓国語 I 韓国語 II
兼任	講師	ライヒェルト ルート ＜令和6年4月＞ Master of Arts in Advanced Japanese Studies （英国）
		ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	ロベス マシア エミリオ ＜令和6年4月＞ Certificado de Aptitud Pedagó gica （スペイン）
		スペイン語 I スペイン語 II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	バートロ ステファン ＜令和6年4月＞ 学士（教育学） （オーストラリア）
		English I B English II A
兼任	講師	金 萍 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		中国語 I 中国語 II
兼任	講師	館農 ユーリヤ ＜令和6年4月＞ 学士（書誌学） （ソビエト連邦）
		ロシア語 I ロシア語 II
兼任	講師	ライヒェルト ルート ＜令和6年4月＞ Master of Arts in Advanced Japanese Studies （英国）
		ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	ロベス マシア エミリオ ＜令和6年4月＞ Certificado de Aptitud Pedagó gica （スペイン）
		スペイン語 I スペイン語 II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩田 佳枝 ＜令和6年4月＞ 文学士
		College English I College English II 資格英語 I 資格英語 II
兼任	講師	齋藤 堯仁 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		社会学A 社会学B
兼任	講師	田中 千晶 ＜令和6年4月＞ 博士（人間社会環境学）
		統計学 I 統計学 II
兼任	講師	滝沢 摩耶 ＜令和6年4月＞ 学士（文学）
		フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	佐々木 雅幸 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		総合領域A※ 地域概論※
兼任	講師	田中 純一 ＜令和6年4月＞ 博士（社会環境学）
		総合領域A※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宋 有宰 ＜令和6年4月＞ 文学博士
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ
兼任	講師	辰巳 佳彦 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		特殊講義Ⅱ

- （注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字として記入してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・菅我千春専任・教授は、学科長兼任を削除、担当授業科目を変更。
- ・新広昭専任・教授の担当授業科目を変更。
- ・青木卓志専任・教授の担当授業科目を変更。
- ・岡達哉教授就任辞退により、専任・教授を取り消し。
- ・船木大資講師を専任・講師に追加。
- ・本康宏専任・教授の担当授業科目を変更。
- ・神崎（牧野）淳子専任・准教授の担当授業科目を変更。
- ・石川（佐古田）美澄専任・准教授を、専任・教授（学科長）に変更。
- ・竹谷多賀子専任・准教授就任辞退により兼任・講師に変更および、担当授業科目を変更。
- ・今村智子准教授を専任・准教授に追加。
- ・山本輝太郎専任・講師を兼任・講師に変更および担当授業科目を変更。
- ・呉星辰講師を専任・講師に追加。
- ・佐々木康成兼任・教授の担当授業科目を変更。
- ・フローダウェイリック兼任・教授の担当授業科目を変更。
- ・辻建一兼任・教授の担当授業科目を変更。
- ・中村朱美兼任・教授の担当授業科目を変更。
- ・木村正信兼任・教授の担当授業科目を変更。
- ・小熊和雄准教授、原嶋 耐治教授退職により、兼任・教授を取り消し。
- ・馬場治兼任・教授の担当授業科目を変更。
- ・「総合領域A、B」をオムニバス形式に変更。
- ・科目の見直し（オムニバスへの変更等）により、大久保英哲教授、大重斉教授、大森重宜教授、齋藤千恵教授、中村明教授を兼任・教授、鈴木理彦准教授、高間佐知子准教授、中原聖乃准教授を兼任・准教授に、佐藤将講師、門前斐紀講師、連桃李恵講師を兼任・講師、松本大貴助教を兼任・助教、岩田佳枝講師、齋藤堯仁講師、田中千晶講師、佐々木雅幸講師、田中純一講師、滝沢摩耶講師、宋有宰講師、辰巳佳彦講師を兼任・講師に追加。
- ・永井暁行兼任・准教授の担当授業科目を変更。
- ・森延江兼任・准教授の担当授業科目を変更。
- ・野口将輝兼任・准教授を兼任・講師に変更、および担当授業科目を変更。
- ・土屋仁美兼任・准教授の担当授業科目を変更。
- ・中尾公一兼任・准教授を兼任・教授に変更、および担当授業科目を変更。
- ・大島菜穂子兼任・講師の担当授業科目を変更。
- ・二口聡兼任・講師の担当授業科目を変更。
- ・寺嶋雅彦兼任・講師の保有学位の変更、および担当授業科目を変更。
- ・田中頌宇将兼任・講師を兼任・准教授に変更。
- ・牧野耀兼任・講師を兼任・准教授に変更、および担当授業科目を変更。漢字間違いにより、牧野耀を牧野耀に修正。
- ・塩田耕平兼任・講師を兼任・准教授に変更。
- ・岡室憲明兼任・助教を兼任・講師に変更。
- ・上田夏世講師の兼任・講師の取り消し。
- ・山田範子兼任・准教授を兼任・教授に変更および、保有学位の変更、担当授業科目を変更。
- ・手塚貴子兼任・准教授を兼任・講師に変更および、担当授業科目を変更。
- ・青木賢人兼任・講師の取り消し。
- ・竹中祐二兼任・講師の取り消し。
- ・徳前嘉子兼任・講師の取り消し。
- ・飯田茂美兼任・講師の取り消し。
- ・河合一彦兼任・講師の担当授業科目を変更。
- ・中川将志兼任・講師の担当授業科目を変更。
- ・金谷永美子兼任・講師の取り消し。
- ・カーリーカー兼任・講師の担当授業科目を追加。
- ・崔チョンア兼任・講師の取り消し。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
5	3	1	0	9	0	5	2	2	0	9	0
(5)	(3)	(1)	(0)	(9)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
5	2	2	0	9	0	5	2	2	0	9	0
[0]	[Δ1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[Δ1]	[1]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員のう ち、定年を延長して 採用する教員数
65 歳	2 名	2 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{9} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{9} = \boxed{22.22} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	岡 達哉	R 6. 3	必修	教養ゼミナールA	①	令和6年3月に他大学への転出のため退職						
				必修	教養ゼミナールB	②							
				必修	教養ゼミナールC	②							
				必修	教養ゼミナールD	①							
				必修	地域概論※	①							
				必修	フィールドワーク基礎演習※	①							
				選択	政策形成概論※	①							
				選択	ホスピタリティ論	①							
				選択	フィールドワーク応用演習a	①							
				必修	基礎専門ゼミナールⅠ	①							
				必修	基礎専門ゼミナールⅡ	①							
				選択	観光政策論	①							
				必修	専門ゼミナールⅠ	①							
				必修	専門ゼミナールⅡ	①							
2	准教授	竹谷 多賀子	R 6. 3	必修	教養ゼミナールA	①	令和6年3月に他大学への転出のため退職						
				必修	教養ゼミナールB	②							
				必修	教養ゼミナールC	②							
				必修	教養ゼミナールD	①							
				必修	フィールドワーク基礎演習※	①							
				必修	基礎専門ゼミナールⅠ	①							
				必修	基礎専門ゼミナールⅡ	①							
				選択	文化政策論	①							
				選択	フィールドワーク応用演習a	①							
				選択	観光文化・社会論	①							
				選択	観光まちづくり論	①							
				必修	専門ゼミナールⅠ	①							
				必修	専門ゼミナールⅡ	①							
				必修	専門ゼミナールⅢ	①							
必修	専門ゼミナールⅣ	①											
必修	卒業研究	①											
3	講師	山本 輝太郎	R 6. 3	必修	MDASHリテラシーⅠ	②	新任教員採用につき就任辞退。社会調査法をはじめ地域データ分析を専門としたより当該科目を教授するにふさわしい教員を採用したため。						
				必修	MDASHリテラシーⅡ	①							
				必修	情報リテラシーⅠ	②							
				必修	教養ゼミナールA	①							
				必修	教養ゼミナールC	①							
				必修	教養ゼミナールD	①							
				選択	地域概論※	①							
				選択	社会調査法	①							
				選択	地域データ分析	①							
				合 計（D）					後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
3	人	必修	31	科目	必修	25	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	11	科目	選択	11	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	42	科目	計	36	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までには専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合 計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
3	人	必修	31 科目	必修	25 科目	必修	6 科目	必修	0 科目		
		選択	11 科目	選択	11 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	42 科目	計	36 科目	計	6 科目	計	0 科目		

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)－③合計(D)+(F)}{(2)－②設置時の計画(A)} = \frac{3}{9} = 33.33 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3)－①、(3)－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D)+(F)と同数を記載してください。

(3)－⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上記3名の就任辞退に伴い、岡教員に代わり船木教員を採用、竹谷教員に代わり今村教員を採用、山本教員の代わりに呉教員を採用している。3名とも研究の専門性については辞退者と同等な研究能力を保持しており、交代について学生に不利益が被ることは皆無であると判断した。 学生への周知は今年度に入ってからではあるが、ホームページや大学紹介、新入生研修などで行っている。学生からの不安や不満の声は上がっていない。
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和5年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 【届出】 遵守事項	地域システム学科の完成年度である令和9(2027)年度までは届け時の体制を維持し、令和8(2026)年度より段階的に定年退職教員の補充のための教員の採用を実施する予定にしている。 履行中	・令和8(2026)年度1名募集し、次年度より採用 ・令和9(2027)年度1名募集し、次年度より採用 以上により完成年度後には、退職年齢を超える専任教員の割合を減らし、最終的にはゼロにすることとしている。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<△△学部 ○○学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画から変更した点はなし。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
金沢星稜大学及び金沢星稜大学女子短期大学部FD・SD委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
随時委員を招集し不定期ではあるが開催、委員のスケジュールを調整し開催のため参加率は100%に近い

c 委員会の審議事項等
(1) 授業内容および方法の改善とその水準向上のための方策に関する事項
(2) 教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を行うための方策に関する事項
(3) 研修会等の実施および諸方策の支援に関する事項
(4) 各学部および部局等が行うFD・SDの支援に関する事項
(5) その他FD・SDに必要な連絡・調整に関する事項

② 実施状況

a 実施内容
産学連携の推進
教育技法のワークショップ
教育技術の活用研修
新任教員のための研修
カリキュラムデザインの研修

b 実施方法
学部横断型全体会議、学部内会議、全体講演会

c 開催状況（教員の参加状況含む）
毎年度4、5、6、7、9、11、12月水曜

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
学部内会議においては振り返りを行ない、各部署において教育への反映を行っている。
学部横断型全体会議の内容については全体報告会を行ない、全教員でシェアするとともに実走に向けて協議し実行を進める。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
実施有 年4回 5月下旬―6月上旬、7月下旬―8月上旬、11月初旬―11月下旬、1月中旬―2月上旬

b 教員や学生への公開状況、方法等
教員への公開、LMS上にて公開

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学校法人稲置学園自己点検・自己評価委員会規程に基づき、教育研究活動と管理運営等の事項について自己点検・評価を実施する。本学における自己点検・評価は、専任教員（担当副学長および各学部長）及び事務職員（事務職管理職）で構成する評価部会が主導のもと、目標を達成するために学長や管理教員その他各部会長や各委員長が執筆を担当、学外の外部有識者2名における外部評価を取り入れ評価を実施。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和6年8月末日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和6年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和7年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審予定

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後 ☒ 2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブ ☒ サイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。